令和２年度

民族楽器による魅力ある授業づくり講座　実施要項

１　目　的

諸外国の音楽の指導について、民族楽器を用いた器楽分野を中心とした諸外国の音楽の楽しさを味わわせることができる魅力ある授業づくりに向けて、講義・実技演習等を行い、その識見と指導力を高める。

２　期　日　　令和２年１０月１９日（月）

３　会　場　　福島県教育センター　（福島市瀬上町字五月田 16）

４　日程・内容

時　　間	内　　容
9:40～ 9:50	受　付　　※受付場所　第１棟　５階音楽研修室
9:50～10:00	開　会　　音楽研修室
10:00～12:00	講義・演習「ドラムサークルで授業づくり」 ドラムサークルファシリテーター協会　理事　三原　典子
13:00～13:30	講義・協議「諸外国の音楽における音楽科学習の意義」 ・諸外国の音楽指導の意義と課題
13:40～16:20	講義・演習「民族楽器による授業づくり」 打楽器奏者　伊藤すみれ
16:20～16:30	閉　会

５　準備物等

(1) 書籍及び資料等

○　令和２年度の音楽科年間指導計画

ア　様式等

・自校の形式

※右上に所属校と氏名を記入し、「諸外国の音楽」を扱う題材を四角で囲み（手書き可）、Ａ４判に印刷する。

イ　提出方法

・受付時に１部提出

(2) 事前課題

○　「諸外国の音楽における音楽科学習の意義」で使用する協議資料

ア　様式等

・Ａ４判縦１枚（下記の様式、内容でまとめる。）

学校名	○○立○○学校、○○高等学校	氏　名	○○　○○
１　諸外国の音楽の授業における指導上の課題 ２　諸外国の音楽の授業における指導や評価の工夫 ３　効果のあった教材、指導法等			

イ　提出方法

・１０月５日（月）必着

・Emailで送付（下記「８　問い合わせ先(2)研修内容について」へ送付する。）

※件名を「専門研音楽－民族音楽課題」とし、本文には所属校と氏名を入力する。

(3) その他
○　上履き、動きやすい服装等
○　食費　４２０円
※教育センター内の食堂を全員利用するので、受付時に納入する。

6　留意事項
(1) やむを得ず欠席・遅刻・早退をするときは、所属長に連絡し、指示を受ける。
(2) 車で来所する場合は、来所経路・駐車位置について「駐車場案内図」を事前に確認すること。
なお、駐車場に限りがあるため、乗り合わせや公共交通機関の利用に御協力ください。
※「駐車場案内図」は、教育センターＷｅｂサイトで確認すること。

7　研修講座受講後のアンケートについて
受講３か月後以降に、教育センターＷｅｂサイトの「各種様式」内のフォーム「研修講座受講後のアンケート」より研修の成果とその活用について回答してください。

8　問い合わせ先
(1) 欠席等について（市町村立学校は、市町村教育委員会・教育事務所経由）
福島県教育センター　総合企画チーム
TEL　024-553-3193　FAX　024-554-1588
Email　center-kikaku-gr@fcs.ed.jp
(2) 研修内容について
福島県教育センター　教員研修チーム　音楽科・芸術科音楽担当
TEL　024-572-4183
Email　kyouin-kenshu-gr@fcs.ed.jp